

「小事は大事、小ロットでも喜んで」 学校関係を中心に印刷業務を受注 人柄・人脈を大切に地域とつながる

明文社



印刷に関することなら何でもご相談を！

た経験から、さまざまな企業との人脈を育み、真面目で誠実な仕事ぶりという評判を得た。「地域の人々の役に立つ仕事がしたい」と自ら会社を立ち上げ、印刷業を開始し、ゼロから文具屋などを営業に回って名刺印刷の注文を取った。築いた人脈を活かし某有名大学の定期刊行物を受注したことをきっかけに、事業拡大を繰り返しながら、現在に至っている。

明文社(世田谷区等々力、鈴木健二社長、03・3705・7581、Eメール meibun@poem.ocn.ne.jp)は、東急大井町線等々力駅から徒歩2分の閑静な住宅街に事務所を構える印刷会社である。鈴木社長が昭和50年に開業、平成10年に法人成りし、現在は私立高校や大学、各種団体など多くの固定客を持ち、幅広い業界から信頼を得ている。名刺・封筒・パンフレット・ポスター・帳票類・卒業文集など、紙類の多い学校関係の業務を中心に、紙や印刷に関することなら何でも受注できる体制を整えている。

人とのつながり・人脈を大切に
する鈴木社長のモットーは、「小事は大事、小ロットでも喜んで」。
故郷新潟から文部省に入省後国立大学の学校事務などを担当してい



人のつながりを大事に育てる鈴木健二社長

でもらうことが私たちの喜びです。一つひとつ誠実に、お客様のニーズに合わせて仕事を行うことが一番大事」と鈴木社長は語る。同社の一番の強みはスピード感。受注から納品まで、迅速な対応もお客様のためだ。

世田谷区・渋谷区・目黒区・大田区など近隣の教育機関・団体様、その他印刷物に関してのご相談は、明文社にぜひお寄せください。